

おかやま文学フェスティバル

おかやま文学フェスティバルの紹介の前に、

自己紹介

名前：岡村由紀子

1972年 大阪府生まれ。

2023年2月に岡山市に引っ越してきました。

仕事：LACROSSE MAGAZINE JAPAN ライター

地下小説家（ZINE作家）。

おかやま文学フェスティバルへの関わり：

2023年(第2回)からZINEスタジアム出店。

2024年(第3回)から運営スタッフとして携わっている。

「ZINEスタジアム」に参加する意味

わたしの本には「ISBNコード」がない

商業流通に乗っていない

ZINEとして手売りするしかない

→「ZINEスタジアム」で手売りできる



「ISBNコード」とは

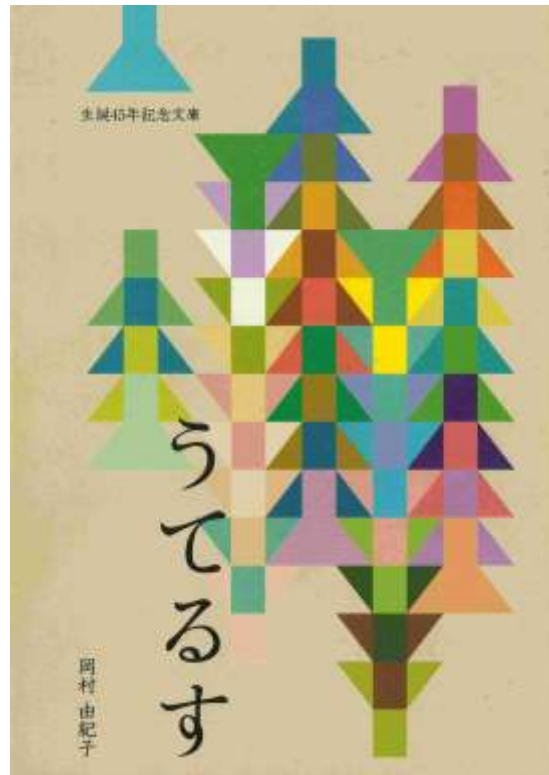
(日本図書コード管理センター HPより)

ISBN (国際標準図書番号: International Standard Book Number) は、固有の書籍出版物を発行形態別、1書名ごとに識別するユニークなコードとして、今では200の国と地域 (2022.4現在) で発行される書籍に表示されています。



ZINE 4冊あります

うてるす (2017年)



つきのなみ (2021年)



たゆむ糸 (2023年)

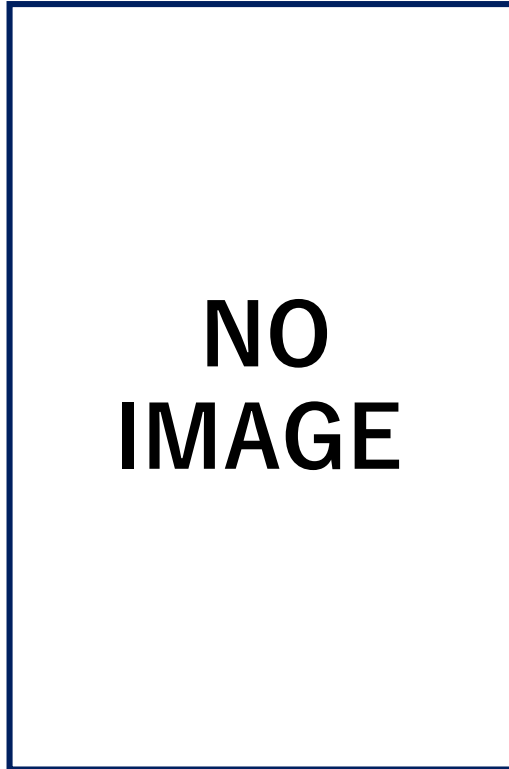


5冊目がもうすぐ誕生します

春満男の友達（2025年3月）



大阪北摂物語（2026年3月）



毎年3月にある

「ZINEスタジオ」
に新刊を出し続ける
ことにした。

ここからは、

おかやま文学フェスティバル

写真について

写真提供：

おかやま文学フェスティバル実行委員会

撮影：

一幡公平さん

撮影日：

第2回おかやま文学フェスティバル
開催時(2024年2月～3月)



「おかやま文学フェスティバル」のなかの人 紹介

①独立系書店

代表：根木慶太郎さん

451BOOKS（玉野市）店主



根木慶太郎さん（右）

「おかやま文学フェスティバル」のなかの人 紹介



渡邊賢二さん（右）

②古書店

副代表

渡邊賢二さん

『斑猫軒（はんみょうけん）』というオンライン古書店店主



「おかやま文学フェスティバル」のなかの人 紹介



山川隆之さん（右）

②出版社

山川隆之さん

吉備人出版(株)吉備人・岡山市)社長

文学創造都市おかやま発「ちいさな物語」マガジン冊子『うったて』の編集委員もされています。



「おかやま文学フェスティバル」のなかの人 紹介

④その他

吉備人出版の編集者、独立系書店、新刊書店、
カメラマン(※)など



※ (写真 xより)
一番公平さん

『集まれ！おかやま名もなき素敵な
景色たち』 (タカノメ特殊部隊)

おかやま 文学フェスティバル 2025 秋-2026 春

主催 岡山市・岡山市文学賞運営委員会、おかやま文学フェスティバル実行委員会

10/5 (日) **天川栄人講演会** at 岡山県立図書館

10/13 (月祝) **表町ブックストリート** at 表町商店街

2026 2/28 (土) **坪田譲治文学賞贈呈式** at 西川アイプラザ

2026 3/7 (土) **ZINE スタジアム** at 岡山ドーム

2026 3/20,21 (金土) **文芸商店街** at 表町商店街 + 城下地下広場

①表町ブックストリート

場所：表町商店街

日時：2025年10月13日（月・祝） 11時～15時

内容：一箱古本市（アマチュア）・古本市（プロ※）の出店



写真は2024年3月2日(第2回開催時)のもの
一箱古本市・古本市の様子









②おかやま文芸商店街

場所：表町商店街・城下地下広場

日時：2026年3月20日（金・祝）～3月21日（土） 11時～16時

内容：

県内外さまざまな地域から書店・出版社・ZINE作家・雑貨店といった販売ブースが集まるほか、トークイベント、ワークショップ、飲食ブースなど、文学と本にまつわる企画が目白押しの2日間。







香川からお越しの外海書房さん

③ZINEスタジアム

場所：岡山ドーム

日時：2026年3月7日(日) 11時～16時

内容：ZINE・リトルプレス・同人誌・フリーペーパーと
いった小規模刊行物を対象とした展示即売会

ZINEスタジオの「ZINE」とは

ZINEとは、好きなもの（イラスト、写真、文章など様々）を、個人やグループで**自由に作る小冊子**。

雑誌を意味する「MAGAZINE」の後ろ4文字をとってZINEと言われるようになったという説があります。

とにかく「**自由**」に作ればいいということです。

自分が「これはZINEです」と言えば、ZINEになる、という大らかさを持ち、多様性を体現した印刷物・冊子がZINEと言えます。



2024年2月25日開催

「第1回目おかやまZINEスタジアム」の様子



2024年2月25日開催（第1回）では80ブース

2025年3月2日開催（第2回目）では100ブース

2026年3月7日開催（第3回）では200ブース



【ワークショップ】

実際にZINEを作ることができます。
写真は宇野港編集室のブース。



「ほんまちミーティング」

おかやま文学フェスティバルは市民の皆さんと作られていきます。

誰でも参加できる

「ほんまちミーティング」で情報共有しイベント本番に向けて準備します。

写真は、2024年の旧内山下小学校職員室で行われたもの。

現在は、幸町図書館で開催されています。



「おokayama文学フェスティバル実行委員会ミーティング」

ほんまちミーティングとは別に、実行委員会だけのミーティングもあります。
多彩な企画はここから生まれます。



写真は、
2024年9月26日 取り壊される
前の岡山市民ホールにて

写真：吉備人出版 インスタグラムより

2025秋-2026春 開催で新たに生まれたもの 「おかやま文芸手帖」



写真は2025年10月13日開催の表町ブックストリート

大型書店で予めご購入の方も、
表町ブックストリートのブースで新たにご購入の方も、
スタンプを押すのが楽しくて大盛り上がりでした。





以上です。



こんにちは
Hello

千田真美（せんだまみ）です。
I'm Mami Senda.



来歴

2022年2月
東京都杉並区から
岡山県玉野市に移住

2023年6月～
自宅にて書店を開業

2023年11月～2024年2月
おかやま文学フェスティバルに
ボランティアスタッフとして参
加

2024年3月～
おかやま文学フェスティバルに
出店者として参加

2025年4月～
おかやま文学フェス
ティバル実行委員

文学フェスティバルとの関わり

第一回目（2023年度）：

来場者として買い物を楽しむ

第二回目（2024年度）：

ボランティアスタッフおよび出店者として参加

第三回目（2025年度）：

出店者および運営スタッフとして参加

書店を開業した きっかけ

- 徒歩圏内に書店がなかったから
- 自宅に使う予定がない部屋があったから

店舗の様子①



店舗の様子②



**実行委員として
やってみたいこと**

**ユネスコ文学創造都市ネット
ワーク加盟都市の方々との交流
を通して、様々な国での「本と
人との関係」をのぞいてみたい**

ありがとうございました。
Thank you for listening.

